

東京すくわくプログラム活動報告書③

〈テーマ設定の理由〉

マットや肋木、ハシゴ、巧技台等、色々な設定を組み合わせることで、子どもたちがどのようにイメージを持ち、からだを使って遊ぶのか。一人一人の体の動きや、イメージ、また友達同士で遊びがどのように広がっていくのかを見ていく。

普段の生活から踏ん張る力や足首の硬さがある子が多いので、自分の体をしっかり支えることや足指でしっかり地面を蹴ること、手を使うこと等も意識をしながら設定を組んでいく。体を育てることでイメージも広がっていくので子どもたちの姿や、対話も通して取り組んでいく。

手指をしっかりと開き、自分の体を支えること、足指を立て踏ん張る等、全身を使う動きと部分的に使う動きを取り入れポイントを意識していけるよう、楽しく遊ぶ中で促していく。

園名：社会福祉法人たつの子の会
羽村しらうめ保育園
活動日時：令和7年10月23日
午前中
クラス名：ぞう組（5歳児クラス）
年間テーマ：設定遊び

〈活動スケジュール〉

午前中のおやつを食べた後、ホールで設定遊びを行う。

〈環境をデザインする・探究活動の実践〉

子どもが視覚的に分かりやすく、次の遊びに進めるようなコースを作って設定を組む。

巧技台は子どもが飛び乗りやすい高さで組むことで手に体の重心が乗りしっかりと支えられ、手指が開く子が多くいた。着地場所にフープを置いたことでのように輪の中に入ることを楽しむ姿が見られた。

はしごでは、左右交互に手足を動かしたり、足をかけぶら下がり、自分の体の重みを感じながら体を揺らす姿が見られたため、少し高さを足して楽しめるようにしていった。

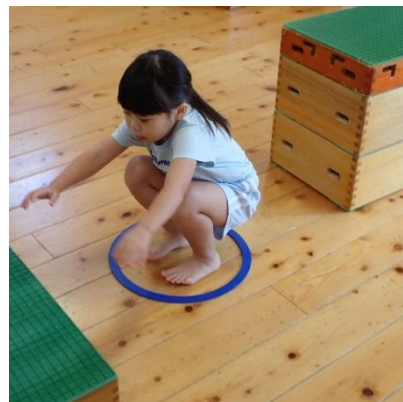
普段はロールマットを立てて上ったり、ジャンプして飛び降りることが多いが今回はあえて横向きに置いて様子を見てみた。足を開き、指先から腕の力で前に進んだり、力加減によって左右にマットが揺れることに気が付くと、落ちないように自分で左右に揺らし、体幹を使って遊んでいた。

ある程度体を動かしたところで、斜面を登る設定を作った。

足指を立てることで踏ん張る力がつき何度も挑戦していくことで登れるようになると達成感を感じ、繰り返し楽しんでいった。

〈活動の為に準備したもの〉

- ・体技台
- ・梯子
- ・一本橋
- ・はしご
- ・ロールマット
- ・マット
- ・布団棚
- ・肋木
- ・肋木板
- ・フラフープ



〈振り返り〉

- ・子どもが見た時に楽しさを感じられるよう、ある程度の高さと繰り返し楽しめるコースのような設定を組んだことで子ども達も興味をもってたくさん体を動かしながら遊んでいた。
- ・空間全体を使って設定を組んだことで、子ども達も視野を広く持ち様々な遊びに意欲的に参加していた。
- ・巧技台、はしご、ロールマット等手指をしっかりと開くためには、手のひらに重心をのせる動きが大切だと感じた。繰り返し遊ぶ中で、高さを変えながら体を支える動き、手指を開く動きを取り入れていく。
- ・はしごにぶら下がり、ブランコのように遊ぶ子もいたため、今後は鉄棒やうんていのような設定を組んでいきたい。